



豊里

### ひよこライダーゴール目指す

「とよさと☆ひよこランニングバイク大会」(豊里コミュニティ推進協議会豊里地域づくり部会主催、佐々木伸雄部会長)は10月24日、豊里花の公園で開かれ、2から6歳までのひよこライダーたちが熱戦を繰り広げました。会場には150メートルの特設コースが設けられ、「ランニングバイク」にまたがり、足で地面を蹴りながらゴールを目指しました。ひよこライダーたちは、上手にバイクを乗りこなし、晴天のもとで元気いっぱいコースを駆け抜けました。

### 交通死亡事故ゼロ12年を達成

中津山地区の「交通死亡事故ゼロ4500日達成表彰式」は10月4日、米山総合支所で開かれ、登米市交通安全対策協議会と佐沼警察署から中津山コミュニティ運営協議会(久保泰宏会長)へ褒状が贈られました。久保会長は、「地域の皆さんや関係団体の協力のもと、交通死亡事故ゼロ4500日が達成できた。引き続き、地域の交通死亡事故が無くなることを願い、交通安全運動の普及に努めていきたい」と決意を述べました。



米山



迫

### 防犯ブザーで子どもの安全を

「防犯ブザー贈呈式」(佐沼地区防犯協会連合会、佐沼子ども見守り隊、佐沼警察署共催)は10月20日、佐沼小学校(及川幸男校長、児童690人)で開かれ、全校児童へ防犯ブザーが贈呈されました。ブザー贈呈は、不審者による声掛け事案の多発に対し、関連団体が活動を強化・団結した防犯事業の一環として実施。佐沼子ども見守り隊の岩淵浩代表は、「怖い思いをさせないよう地域一丸で見守ります」と述べました。



石越

### 隣接中学校と熱戦の野球交流

「第35回登米市石越隣接中学校野球大会」(同大会実行委員会主催、平塚義行実行委員長)が10月16、17の両日、石越総合運動公園野球場と多目的グラウンドで開かれました。大会は、石越中学校に隣接する13中学校が集い、トーナメント方式で10チームが対戦。試合会場は、選手たちの声掛けと観客の応援で活気に満ちあふれました。決勝は、中田中学校と古川北・西中学校合同チームが対戦。接戦の末、中田中学校が優勝を決めました。

### おいしいお米に感謝を込めて

「稲刈り体験」は10月22日、登米公民館付近の田んぼで実施され、登米小学校(岩淵達郎校長、児童201人)5年生の33人が参加しました。児童と保護者は、JAみやぎ登米青年部登米町青年部の指導により、一連の農作業を手刈りで体験。参加した児童は「思っていた以上に稲が固くて丈夫だった」と話しました。農業と自然の恵みを知り、食の大切さと生産者の苦勞を学ぶ良い機会となりました。



登米

### あっという間楽しいひととき

「オータムキャンプ」(びいす☆かんぱに主催、千葉拓也代表)は10月23日、大嶽山交流広場で開かれ、市内の小学生13人が参加しました。同キャンプは「体験の中でしか学べないものがここにある」をテーマに、焼き板や竹箸作り体験に挑戦することで、自然を満喫する喜びを知ってもらうことが狙い。夜は、キャンプファイヤーやダンスなどを楽しみ、充実した楽しい一日となりました。



南方



東和

### 森林から米川の自然を学ぼう

米川小学校(鈴木淳校長、児童70人)の6年生11人が10月7日、総合的な学習(探究)で源氏ホタル交流館で開かれた「地元の自然」と題した学習会を、受講しました。学習会では、講師の鱒淵源氏ほたる保存会の鈴木忍会長が、地域の森林環境と生息しているホタルの関係について説明。児童は、学習会を通じ、蛍の一生や生息、種類などへの理解を深め、地域にある生態系について探求的な見方・考え方を学びました。



津山

### 元ベガルタ仙台選手と軽運動

「介護予防健康体操教室～こころもからだも元気Project～In津山」は10月14日、津山老人福祉センターで開かれ、地域住民21人が参加しました。同教室は、ベガルタ仙台が同所属の人材とノウハウを生かし、県内の高齢者向けに開催している取り組み。元選手で地域連携課の菅井直樹さんを講師に、ストレッチや軽い運動を実施。菅井さんは「普段の生活に少しでも取り入れることが大切です」と参加者を励ましながら、指導しました。

### 遊びながら走る楽しさを学ぶ

宝の花プロジェクト「まなぼうず」(宝江コミュニティ運営協議会主催、千葉光夫会長)は10月9日、宝江小学校の校庭で開かれ、児童18人が「かけっこ教室」に参加しました。同プロジェクトは、地域の居場所づくりとして、学年を超えて自由に交流ができる機会を増やすことが目的。児童は、元実業団ランナーの井波由希さんからリズムカルな曲に合わせて、体幹を鍛える体操など、早く走るためのコツを教わり、鬼ごっこや対抗リレーなどで実践しました。



中田